

会 議 録

会議の名称	令和2年度第2回上尾市図書館協議会	
開催日時	令和2年10月12日（月）午後1時40分から午後3時40分まで	
開催場所	上尾市図書館本館2階 集会室	
議長(副委員長)氏名	若松昭子	
出席者(委員)氏名	北川悦子、岸清俊、山田浩一、佐々木智美、加藤寛子、宮内礼子、清水松代	
欠席者(委員)氏名	須賀聡、藤波貢、関口典子、代島常造	
事務局(庶務担当)	島田館長、山内主幹、河原塚副主幹、中島主査、内山主査、石川主任、朝見主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 議題 ① 第3次上尾市図書館サービス計画骨子(案)について ② 上尾市子どもの読書活動推進計画骨子案について ③ 今後の進め方(予定)について	別紙「議事の経過」のとおり
議 事 の 経 過	別紙「議事の経過」のとおり	傍聴者数 5名
会 議 資 料	上尾市図書館要覧(令和2年度) 資料1-1 第3次上尾市図書館サービス計画骨子(案)の検討ポイント 資料1-2 第3次上尾市図書館サービス計画骨子(案) 資料2-1 上尾市子どもの読書活動推進計画骨子案 資料2-2 子どもの読書活動推進計画骨子案(体系) 資料3 今後の進め方(予定)	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 年 月 日 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 令和2年12月3日署名済み 議長(副委員長)の署名 _____ </div>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	議題① 第3次上尾市図書館サービス計画骨子（案）について
議長	報告①について意見、質問を求める。
A委員	資料1-2の4頁「1. 基本理念」について、案1はこれまでの計画と同様であるが、案2・案3を立案した経緯及びそれらに決まった際の今後の方針について説明を求める。
事務局	案2については、図書館協議会の答申としていただいた、今後10年間を見据えた「図書館の今後の在り方」を反映させている。第3次だけでなく第4次上尾市図書館サービス計画にも繋がるような柱として立案した。したがって今後の方針としては、「図書館の今後の在り方」の内容を精査し、第3次、第4次に振り分けて計画を明確にしていきたいと考えている。 案3については、国や中央教育審議会等で指摘されている社会情勢の変化について、行政として取り入れる必要があると考え、情報化社会の中で情報の拠点としての意味合いを強く打ち出したものを立案した。今後の方針としては、資料1-2の6頁「第3章 サービス項目」の中にある、「3. 情報サービス」及び「4. 地域課題に対応したサービス」の項目等に反映され、より強化された計画になると考えている。
A委員	案2は「図書館の今後の在り方」を反映していると説明をいただいたが、その在り方が新型コロナウイルス感染症に対応し得るものか確認する必要があると感じた。案3については、基本理念に具体的なものを掲げてしまうと身動きが取りづらくなってしまうため、柔軟な対応が取れるように計画を整備する必要があると感じた。
B委員	案1は図書館の基本として、第1次上尾市図書館サービス計画から今まで基本理念として掲げていたものであるため、揺るがないものだと考えている。計画を策定するあたり、より具体的なものを盛り込むことで市民の理解を得られるのではないかと思う。
C委員	案1は案2・案3の要素を含んでおり統合性がとれていると感じた。今後の図書館には、どの世代のニーズにも応えられる必要があるため、臨機応変に対応できる基本理念にするべきだと思う。
D委員	案3については、具体的に掲げ過ぎているため、図書館全体を網羅できるようなものにした方がいいと思う。
議長	サービス計画は5年計画であるが途中で修正は可能か。
事務局	状況に応じては修正することも可能である。
E委員	長期的な期間で考えたときに、時代に合わせた環境づくりは大切であるが、多様なニーズに応えるサービスも含めて考える必要があると思う。案1は網羅的であるが、一方で案3は基本方針Ⅳにより過ぎていて、狭義になってしまうため、網羅的ということであれば、案1をもとに市民ニーズに応えながら居心地のいい図書館づくりと社会情勢の変化を意識した内容の案2・案3の文言を盛り込めるといいと思う。

A委員	確認になるが、基本理念は10年間を見据えた上での今後5年間のものか。
事務局	10年以上を見据えたものである。
議長	案2・案3は本来、図書館の機能として両方含まれないといけないものだと考える。案1の「暮らしに役立つ」という言葉には、案2・案3の内容がすべて含まれるので、あえて案2・案3に変更する必要がないと考える。市民とともに歩み、いろいろなニーズに合わせ役立つような機関でありたい、という言葉が案1に表れていると感じる。
A委員	案2・案3は案1の精神をもっているので、サービス計画の内容を変えていくことで対応できるのではないかと考える。
D委員	第3次上尾市図書館サービス計画を策定する上で、今後具体的なサービスを考えたときに予算的な裏付けについては、また、図書館協議会で挙げられた意見を反映するにあたり、予算的な裏付けについて、どのようになっているか。
事務局	現状としては、「図書館の今後の在り方」を実現できるよう予算の裏付けも計画策定と同時並行で進めていて、また協議会での意見も反映できるように予算枠にとらわれず、工夫をしながら可能な限り裏付けを取っていきたいと考えている。
事務局	議題② 上尾市子どもの読書活動推進計画骨子案について
議長	議題②について意見、質問を求める。
A委員	資料2-2の3頁「1 図書館における取組」にある「(2) 年代別サービス」内の「青少年向けサービスの向上」で挙げられている、ブックトーク・ビブリオバトルについては、リモートでの実施を検討しているか。
事務局	リモートでの実施は現在検討中である。基本的には学校に赴き、図書館の事業として実施することを想定している。
議長	資料2-2の3頁、5頁において「1 図書館における取組」、「4 学校における取組」の中で、同様の具体的な取組が計画されているが棲み分けについてはどうなっているか。
事務局	「学校における取組」は、学校主体で読書活動の推進が行えるように支援を行っていく計画であり、「図書館における取組」については、図書館が主体として読書活動の推進を行う計画である。
議長	子どもの読書活動支援センターと図書館との関わりが少し見えにくいいため組織図等、体系についての説明を計画内に明記する予定はあるか。
事務局	第2次あげお子ども読書プランの中で、「子どもの読書活動の推進、支援体制」という項目に記載はあるが、引き続き明記する予定である。
議長	計画改正のポイントとして、「読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進」と挙げられている。これまでの活動報告等を振り返ると、小学生レベルの取り組みは充実していると感じるが、中学生に対しての具体的な取組はあるか。

事務局	<p>子どもの読書活動支援センターの事業等を通して、中・高校生の読書推進が進んでいないことも感じているので、ブックトーク以外の具体的な取組も今後盛り込んで行きたいと考えている。</p>
F委員	<p>青少年への取組の一環として、図書館職員と学校司書教諭等の交流はあるか。</p>
事務局	<p>図書支援員との交流については、年間を通して研修を行っている。しかし多忙である司書教諭も含めた研修については平成29年度以降実施していない。そのため、令和3年度は実施したいと考えている。</p> <p>議題③ 今後の進め方（予定）について</p>
議長	<p>議題③について意見、質問を求める。</p> <p>特になし</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>